

防災公共推進計画書

～風間浦村～

令和7年度

青 森 県

防災公共推進計画の更新ポイント

今回の防災公共推進計画の更新ポイントを、下記の4項目（津波浸水想定区域に該当しない市町村は3項目）に重点を置き、各市町村の防災公共推進計画について再検討ならびに更新を行ったものである。

①地震・津波災害

将来起こりうる最大クラスの地震・津波（太平洋側海溝型地震、日本海側海溝型地震、内陸直下型地震）を想定した新たな津波浸水想定区域を基に、従前の津波浸水想定区域から区域が拡大した地区に対して、対象市町村から現状を確認し、避難場所、避難目標地点、避難限界範囲、避難経路等の再検討に重点を置き、更新を行った。

②風水害

国・県管理河川のうち、洪水予報河川及び水位周知河川における従前の洪水浸水想定区域から区域が拡大した地区に対して、対象市町村から現状を確認し、避難場所、避難経路等の再検討に重点を置き、更新を行った。

③危険箇所

県で指定している危険箇所（河川砂防危険箇所、林政危険地区、道路防災点検、橋梁危険箇所）は道路を保全対象としている危険箇所が多く、かつ各地に点在していることから、避難経路を確保する観点で現時点の危険箇所及び市町村の施策の整備状況を確認し、孤立の恐れのある集落の解消に重点を置き、更新を行った。

④市町村へのヒアリング

令和3年及び令和4年に本県で発生した大雨災害や令和6年1月に発生した能登半島地震等、近年発生した災害を踏まえ、各市町村における災害時の実体験や被災当時の課題等をヒアリングし、その内容を基に避難場所、避難目標地点、避難限界範囲、避難経路等の再検討に重点を置き、更新を行った。

※津波浸水想定区域に該当する市町村は①～④すべてが該当となり、それ以外の市町村は②、③、④が該当する。



図-1 青森県沿岸区分図

表-1 津波の水位・影響開始時間等一覧表

市町村	海岸線の最大津波高(m)	代表地点					市町村庁舎等の浸水深	
		影響開始時間	第一波到達時間	最大波		代表地点数		
				到達時間	津波水位			
階上町	21.5	12分	32分	44分	17.7	4		
八戸市	26.1	6分	32分	183分	21.0	12		
おいらせ町	24.0	13分	35分	51分	21.1	5		
三沢市	17.1	11分	28分	50分	14.7	11		
六ヶ所村	12.7	3分	20分	23分	8.7	8	村役場：0.5m	
東通村	15.7	3分	19分	33分	10.8	9		
風間浦村	11.5	2分	32分	34分	8.5	7	村役場：7.0m	
大間町	10.7	5分	17分	37分	9.0	4		
佐井村	6.5	5分	10分	204分	4.6	7		
むつ市	陸奥湾	5.4	2分	9分	159分	3.9	20	
	津軽海峡	13.4	4分	31分	37分	10.6	6	
横浜町	5.1	4分	140分	141分	3.6	3		
野辺地町	4.5	10分	41分	161分	3.5	5		
平内町	4.8	3分	10分	107分	4.0	13		
青森市	5.4	0分	2分	97分	4.8	12	県庁：1.9m 市役所：1.4m	
蓬田村	4.4	0分	1分	101分	3.7	5	村役場：2.7m	
外ヶ浜町	陸奥湾	4.9	0分	0分	196分	3.5	7	
	津軽海峡	9.7	2分	20分	211分	5.5	13	
今別町	6.6	2分	29分	213分	5.6	7		
中泊町	22.6	3分	18分	22分	10.4	5		
五所川原市	10.8	10分	18分	19分	7.4	3		
つがる市	11.4	16分	18分	24分	8.9	2		
鱒ヶ沢町	12.1	12分	15分	21分	10.5	5		
深浦町	21.7	3分	6分	11分	12.5	20	町役場：5.9m	

防災公共推進計画 下北県土整備事務所管内【風間浦村】 更新内容概要版

1.更新目的

従前の防災公共推進計画に対して、各市町村との協議及び最新の危険箇所情報により現状確認した結果を基に、防災公共推進計画を更新し、地区内における危険箇所等を共有するものである。

2.確認項目

整理番号	確認項目	更新要否	備考
1	地形図	○	
2	危険箇所	○	
3	津波浸水想定区域	○	
4	洪水浸水想定区域	—	国管理河川、県管理洪水予報河川、水位周知河川
5	孤立集落	—	孤立する恐れのある集落
6	防災拠点	—	災害時に防災活動の拠点となる施設
7	ヘリ離着陸可能場所	○	孤立した際の物資の輸送手段
8	避難場所	○	R4国土地理院 指定緊急避難場所、防災マップ避難所リスト
9	避難目標地点	○	津波浸水想定区域外の避難の目標とする地点
10	避難限界範囲	○	津波影響開始時間を基に計算して出した避難可能範囲
11	避難経路	○	人家→避難目標地点→避難場所→防災拠点

3.更新内容

整理番号	更新内容	更新前	更新後
1	地形図	青森県防災地形図2,500	国土地理院 電子地形図
2	危険箇所	H23河川砂防、林政、道路、橋梁危険箇所	R4河川砂防、林政、道路、橋梁危険箇所
3	津波浸水想定区域	青森県 平成25年1月公表	青森県 令和3年5月公表
7	ヘリ離着陸可能場所	H24ワーキングにて設定	R4市町村協議を基に再設定
8	避難場所	地域防災計画 指定避難場所	国土地理院 指定緊急避難場所
9	避難目標地点	H24ワーキングにて設定	R4市町村協議を基に再設定
10	避難限界範囲	H24ワーキングにて設定	R4市町村協議を基に再設定
11	避難経路	H24ワーキングにて設定	R4市町村協議を基に再設定

4.津波設定条件・施策の取組状況・追加検討地区等

項目	検討結果
津波設定条件	1地区は第一波到達時間、3地区は津波影響開始時間と第一波到達時間を採用
施策の取組状況	県の危険箇所7箇所事業完了、6箇所事業中、村の施策6箇所事業完了
追加検討地区	追加検討地区なし
新たな取組	特になし
その他	特になし

5.更新後の孤立する恐れのある集落数（地区数）

更新前孤立集落数		更新後孤立集落数		孤立解消集落数		孤立解消集落名(地区名)		備考
地震時	大雨時	地震時	大雨時	地震時	大雨時	地震時	大雨時	
3地区	3地区	3地区	3地区	0地区	0地区	なし	なし	検討地区 全4地区

6.今後の取組について

項目	内容
防災公共推進計画	おおむね5年毎の防災公共推進計画更新
土砂災害警戒区域	新規抽出箇所による避難場所・避難目標地点・避難経路の再検討
洪水浸水想定区域	その他河川の洪水浸水想定区域による避難場所・避難目標地点・避難経路の再検討
短期・中期的施策	施策の取組状況確認及び施策の再設定

防災公共推進計画 下北県土整備事務所管内【風間浦村】 検討結果概要版

1.概要

風間浦村は、すべての集落が国道279号により役場と連結している。また、救急病院や防災拠点が集積するむつ市とは、国道279号で連結されている。

村内の主要道路である国道279号には危険箇所が多く、村内のすべての集落で孤立する恐れがある。さらに、すべての集落と、防災拠点となる風間浦村役場で津波による浸水が想定されている。

平成24年度に県民局及び市町村ワーキングを実施し防災公共推進計画を策定したところだが、今回の更新では、風間浦村における孤立する恐れのある集落や避難場所が存在する地区、津波により浸水が想定される地区の全4地区において検討を実施した。

2.避難前提条件の検討

2-1.津波影響開始時間・第一波到達時間・最大波到達時間									
市町村	地域海岸	代表地点	地区名	前回津波時間		見直し後津波時間			
				津波影響開始時間		津波影響開始時間		第一波到達時間	最大波到達時間
				+20cm	-20cm	+20cm	-20cm		
風間浦村	北通	甲	③下風呂	41分	22分	3分	3分	32分	32分
風間浦村	北通	畑尻		46分	22分	2分	2分	32分	32分
風間浦村	北通	下風呂		41分	22分	4分	4分	32分	32分
風間浦村	北通	桑畑	②桑畑	47分	23分	5分	5分	33分	33分
風間浦村	北通	桑畑漁港	-	48分	23分	6分	6分	35分	35分
風間浦村	北通	易国間	①風間浦保育所他	49分	24分	7分	7分	35分	35分
風間浦村	北通	蛇浦	④蛇浦	49分	24分	5分	5分	34分	34分

2-2.避難可能範囲(津波影響開始時間・第一波到達時間)									
代表地点	地区名	津波影響開始時間	避難開始時間	避難可能時間	秒換算	歩行速度	避難可能距離 ※上限500m	/補正率	避難可能範囲
		第一波到達時間							
甲	③下風呂	3分	2分	1分	60秒	1.0m/秒	60m	1.5	0m
		32分	2分	30分	1800秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
畑尻	③下風呂	2分	2分	0分	0秒	1.0m/秒	0m	1.5	0m
		32分	2分	30分	1800秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
下風呂	③下風呂	4分	2分	2分	120秒	1.0m/秒	120m	1.5	50m
		32分	2分	30分	1800秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
桑畑	②桑畑	5分	2分	3分	180秒	1.0m/秒	180m	1.5	100m
		33分	2分	31分	1860秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
桑畑漁港	-	6分	2分	4分	240秒	1.0m/秒	240m	1.5	150m
		35分	2分	33分	1980秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
易国間	①風間浦保育所他	7分	2分	5分	300秒	1.0m/秒	300m	1.5	200m
		35分	2分	33分	1980秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
蛇浦	④蛇浦	5分	2分	3分	180秒	1.0m/秒	180m	1.5	100m
		34分	2分	32分	1920秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m

3.施策の取組状況

3-1.避難場所確保の取組					
地区名	事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
③下風呂	-	-	村	下風呂公民館	【事業完了】

3-2.避難経路確保の取組					
地区名	事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
③下風呂	急傾斜地	I-970	県	畑尻	【未実施】
④蛇浦	急傾斜地	I-989	県	石上	【未実施】
	土石流	425-I-1	県	蛇浦川	【事業完了】

3.施策の取組状況

3-3.輸送手段確保の取組					
地区名	事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
①風間浦保育所他	-	-	村	旧易国間小学校グランド	【未実施】
②桑畑	道路危険箇所	6279E003	県	国道279号(易国間)	【事業完了】
	崩壊土砂流出	425-H0028	県	治山施設機能強化(上ノ畑地区)	【事業完了】
③下風呂	-	-	村	旧下風呂小学校グランド	【未実施】
④蛇浦	-	-	村	旧蛇浦小学校グランド	【未実施】

3-4.その他の取組					
地区名	事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	-	村	海拔表示板設置	【事業完了】
-	-	-	村	避難階段周知板設置	【事業完了】

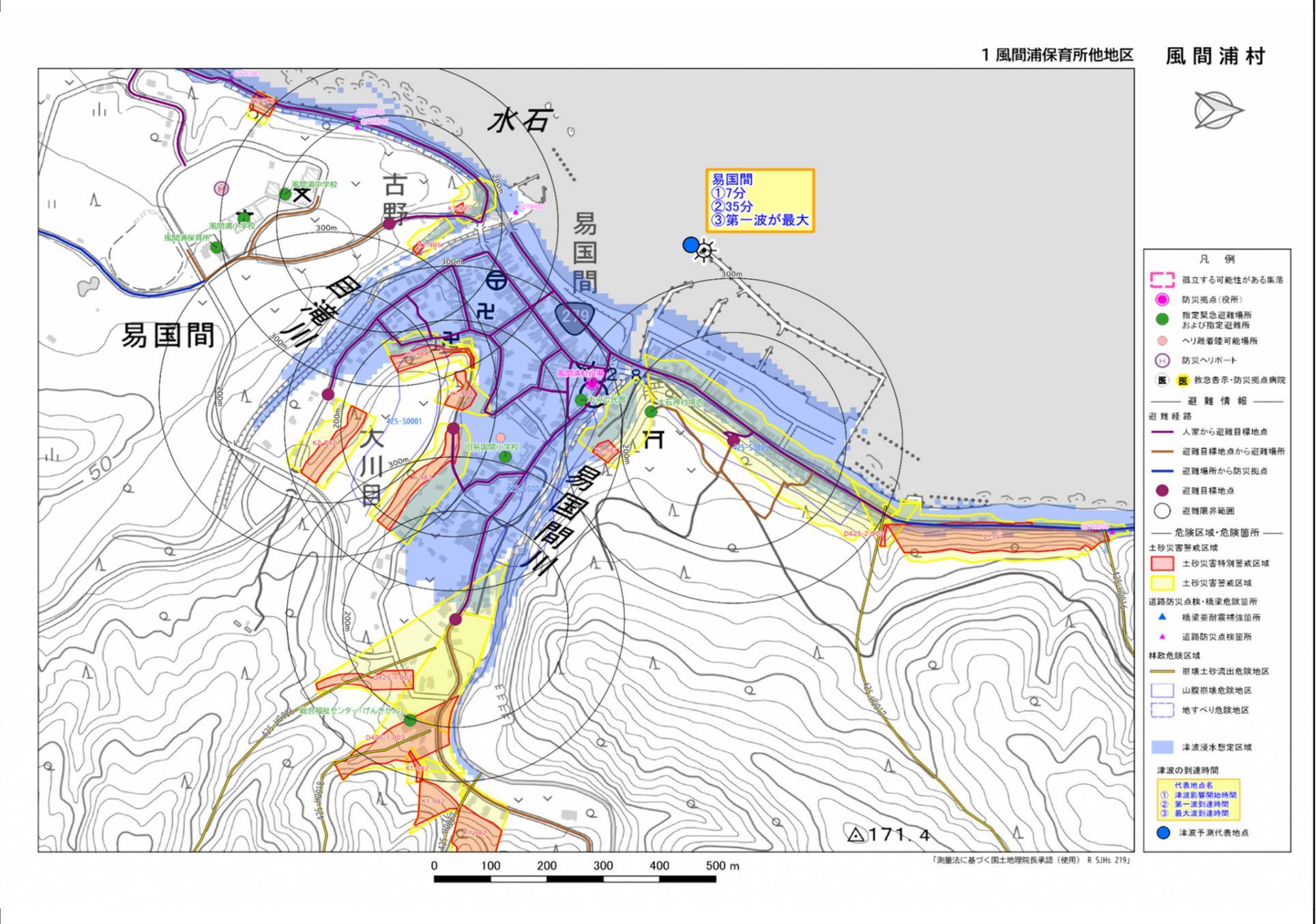
3-5.孤立状況解消の取組					
地区名	事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
①風間浦保育所他	崩壊土砂流出	425-H0017	県	カドノ沢地区	【未実施】
	道路危険箇所	6279A005	県	国道279号(易国間)	【事業中】
②桑畑	崩壊土砂流出	425-H0012	県	釜ノ沢地区	【未実施】
	崩壊土砂流出	425-H0013	県	二夕川地区	【事業中】
	崩壊土砂流出	425-H0014	県	上ノ畑地区	【未実施】
	道路危険箇所	6279E002	県	国道279号(易国間3)	【事業中】
	崩壊土砂流出	425-H0015	県	日陰沢地区	【未実施】
③下風呂	道路危険箇所	6279E001	県	国道279号(易国間)	【事業完了】
	崩壊土砂流出	425-H0016	県	桁ノ沢地区	【未実施】
	崩壊土砂流出	425-H0001	県	甲平ノ上(1)地区	【事業完了】
	崩壊土砂流出	425-H0003	県	鳥谷場ノ上地区	【未実施】
	崩壊土砂流出	425-H0004	県	五十嵐ノ沢地区	【事業中】
	崩壊土砂流出	425-H0006	県	滝ノ上地区	【事業中】
④蛇浦	崩壊土砂流出	425-H0007	県	新湯地区	【未実施】
	道路危険箇所	6279E501	県	国道279号(焼山崎)	【事業完了】
	崩壊土砂流出	425-H0011	県	焼山地区	【事業完了】
	崩壊土砂流出	425-H0021	県	新釜谷No1地区	【未実施】
	崩壊土砂流出	425-H0022	県	新釜谷No2地区	【未実施】
	急傾斜地	I-986	県	孫三郎澗	【未実施】
	道路危険箇所	6279G501	県	国道279号(易国間)	【事業中】

4.検討結果一覧表

地区名	孤立集落数		孤立避難場所	津波浸水区域	利用可能な避難場所	物資の輸送手段	施策実施状況数		
	地震	大雨					事業完了	事業中	未実施
①風間浦保育所他	-	-	○	○	風間浦中学校他	へり・漁港	1	1	1
②桑畑	1	1	-	○	桑畑温泉「湯ん湯ん♪」	漁港	3	2	4
③下風呂	1	1	-	○	旧下風呂小学校他	へり・漁港	5	2	3
④蛇浦	1	1	-	○	旧蛇浦小学校	へり・漁港	2	1	4
小計	3	3	1	4			11	6	12

防災公共推進計画 下北県土整備事務所管内【風間浦村】①風間浦保育所他地区（孤立避難場所・津波浸水想定区域）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
風間浦中学校	指定避難所	
風間浦小学校	指定避難所	
風間浦保育所	指定避難所	
大石神社境内	指定緊急避難場所	
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
-	-	-
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
中央公民館	津波浸水想定区域内	指定避難所
旧易国間小学校	津波浸水想定区域内	指定避難所
総合福祉センター「げんきかん」	危険箇所内	指定避難所

3.避難経路の確保

・風間浦中学校、風間浦小学校、風間浦保育所、大石神社境内への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
崩壊土砂流出	425-H0017	県	カドノ沢地区	【未実施】
道路危険箇所	6279A005	県	国道279号(易国間)	【事業中】

【地区の検討結果】 ※風間浦村の検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

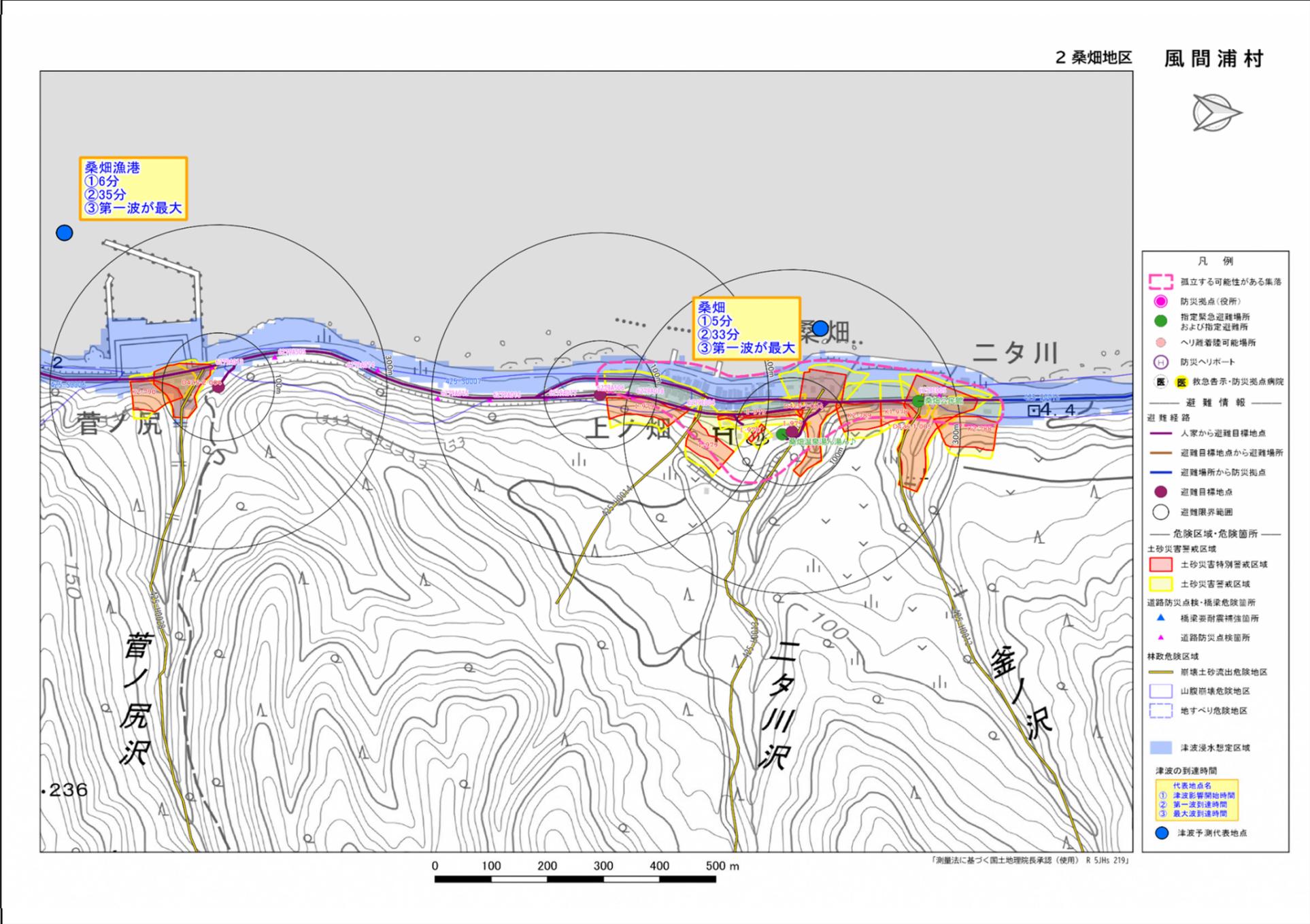
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
①風間浦保育所他地区 (孤立避難・津波浸水)	検討前	・避難目標地点は3箇所。 (1箇所は浸水区域内のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が22分から7分に変わるため再検討が必要)	・避難場所は3箇所指定されており、安全。 (浸水区域拡大による避難場所の検討が必要)	・新たな浸水区域内の避難経路の再検討が必要である。	・地区内にあるヘリポート2箇所利用可能。	/	/
	検討後	・避難目標地点は5箇所。 ・浸水区域内にある目標地点1箇所を移動し、2箇所追加した。	・避難限界範囲は津波影響開始時間で200m、第一波到達時間で300mの2種類で再設定した。 ・第一波到達時間を採用すれば避難限界範囲は変わらない。	・避難場所は風間浦中学校、風間浦小学校、風間浦保育所、大石神社境内の4箇所に設定した。	・風間浦中学校、風間浦小学校、風間浦保育所、大石神社境内への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・風間浦中学校のヘリポートを利用し、旧易国間小学校のヘリポートは浸水区域内にあるため利用しない。		

4.物資の輸送手段の確保

・風間浦中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。
・易国間漁港は利用可能である。

防災公共推進計画 下北県土整備事務所管内【風間浦村】②桑畑地区（孤立集落・津波浸水想定区域）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
桑畑温泉「湯ん湯ん♪」		指定避難所
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
桑畑公民館	津波浸水想定区域内	指定避難所

3.避難経路の確保

・桑畑温泉「湯ん湯ん♪」への避難経路上に危険箇所があり、未対策である。
 ・地区内の危険箇所、役場方面までの危険箇所の対策が完了後、孤立する恐れは解消する。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
崩壊土砂流出	425-H0012	県	釜ノ沢地区	【未実施】
崩壊土砂流出	425-H0013	県	二夕川地区	【事業中】
崩壊土砂流出	425-H0014	県	上ノ畑地区	【未実施】
道路危険箇所	6279E002	県	国道279号(易国間3)	【事業中】
崩壊土砂流出	425-H0015	県	日陰沢地区	【未実施】
道路危険箇所	6279E001	県	国道279号(易国間)	【事業完了】
崩壊土砂流出	425-H0016	県	桁ノ沢地区	【未実施】

【地区の検討結果】 ※風間浦村の検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

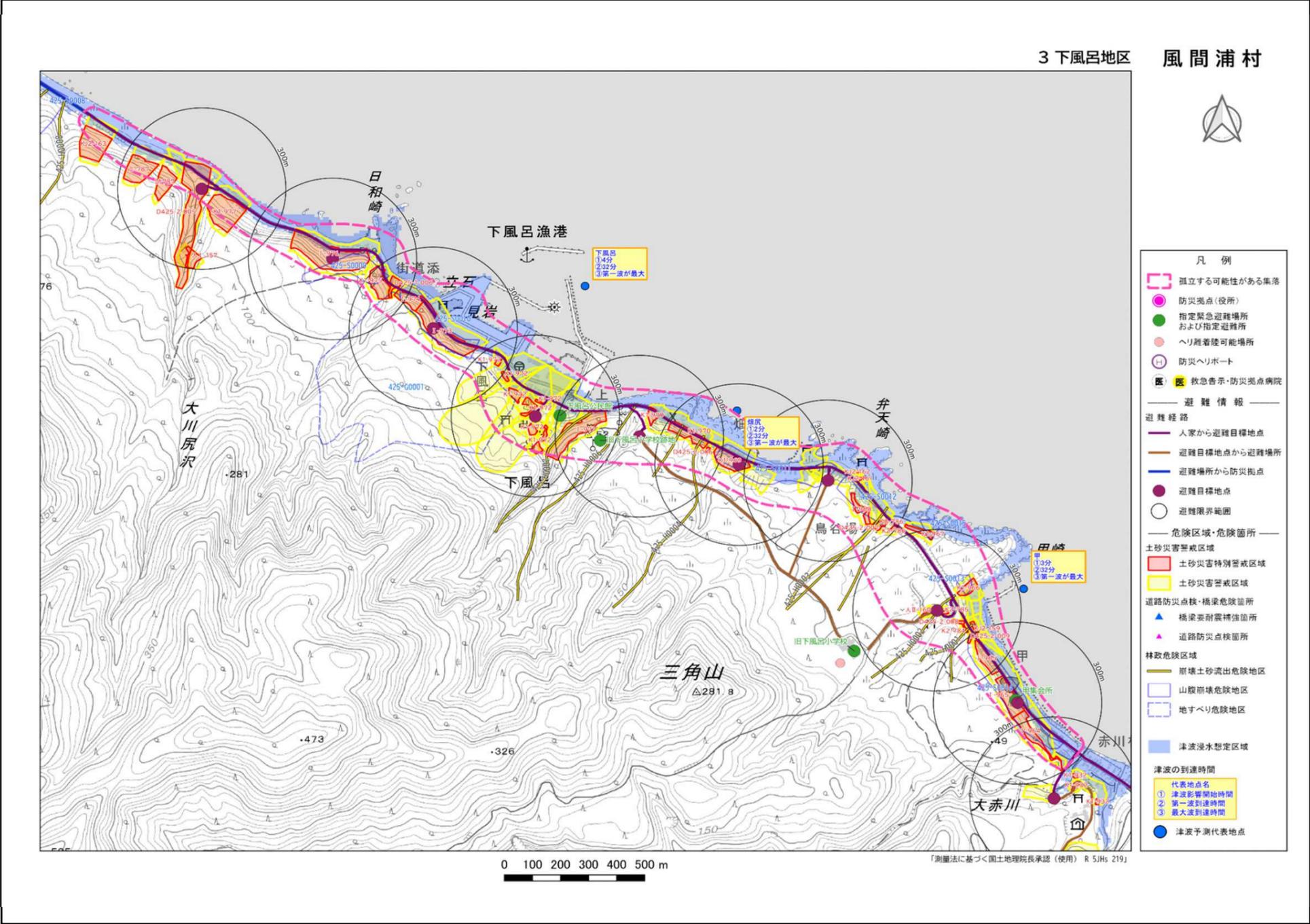
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
②桑畑地区 (孤立集落・津波浸水)	検討前	・避難目標地点は1箇所。 (1箇所は浸水区域内のため、浸水区域拡大による再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が22分から5分に変わるため再検討が必要)	・避難場所は1箇所指定されており、安全。 (浸水区域拡大による避難場所の検討が必要)	・新たな浸水区域内の避難経路の再検討が必要である。	・地区内にヘリポート利用可能なスペースはない。 ・隣接地区にある漁港の利用。	・役場までのアクセスルート上に、危険箇所が点在している。	孤立する
	検討後	・避難目標地点は3箇所。 ・浸水区域内にある目標地点1箇所を移動し、2箇所追加した。	・避難限界範囲は津波影響開始時間で100m、第一波到達時間で300mの2種類で再設定した。 ・第一波到達時間を採用すれば避難限界範囲は変わらない。	・避難場所は桑畑温泉「湯ん湯ん♪」の1箇所に設定した。 ・その他の目標地点からは車両等による移動も必要である。	・桑畑温泉「湯ん湯ん♪」への避難経路上に危険箇所(崩壊土砂流出425-H0012、425-H0014)があり、未対策である。(崩壊土砂流出425-H0013は対策済みである)	・風間浦保育所他地区の易国間漁港を利用する。	・地区内の危険箇所、役場方面までの危険箇所の対策が完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する

4.物資の輸送手段の確保

・地区内にヘリ離着陸可能な場所はない。
 ・隣接する地区の易国間漁港は利用可能である。

防災公共推進計画 下北県土整備事務所管内【風間浦村】 ③下風呂地区（孤立集落・津波浸水想定区域）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
旧下風呂小学校	指定避難所	
旧下風呂小学校跡地	指定緊急避難場所	
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
甲集会所	津波浸水想定区域内	指定避難所
下風呂公民館	津波浸水想定区域内	指定避難所

3.避難経路の確保

・旧下風呂小学校、旧下風呂小学校跡地への避難経路上に危険箇所があり、未対策である。
 ・地区内の危険箇所、役場方面までの危険箇所の対策が完了後、孤立する恐れは解消する。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
急傾斜地	I-970	県	畑尻	【未実施】
崩壊土砂流出	425-H0001	県	甲平ノ上(1)地区	【事業完了】
崩壊土砂流出	425-H0003	県	鳥谷場ノ上地区	【未実施】
崩壊土砂流出	425-H0004	県	五十嵐ノ沢地区	【事業中】
崩壊土砂流出	425-H0006	県	滝ノ上地区	【事業中】
崩壊土砂流出	425-H0007	県	新湯地区	【未実施】
道路危険箇所	6279E501	県	国道279号(焼山崎)	【事業完了】
崩壊土砂流出	425-H0011	県	焼山地区	【事業完了】

【地区の検討結果】 ※風間浦村の検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

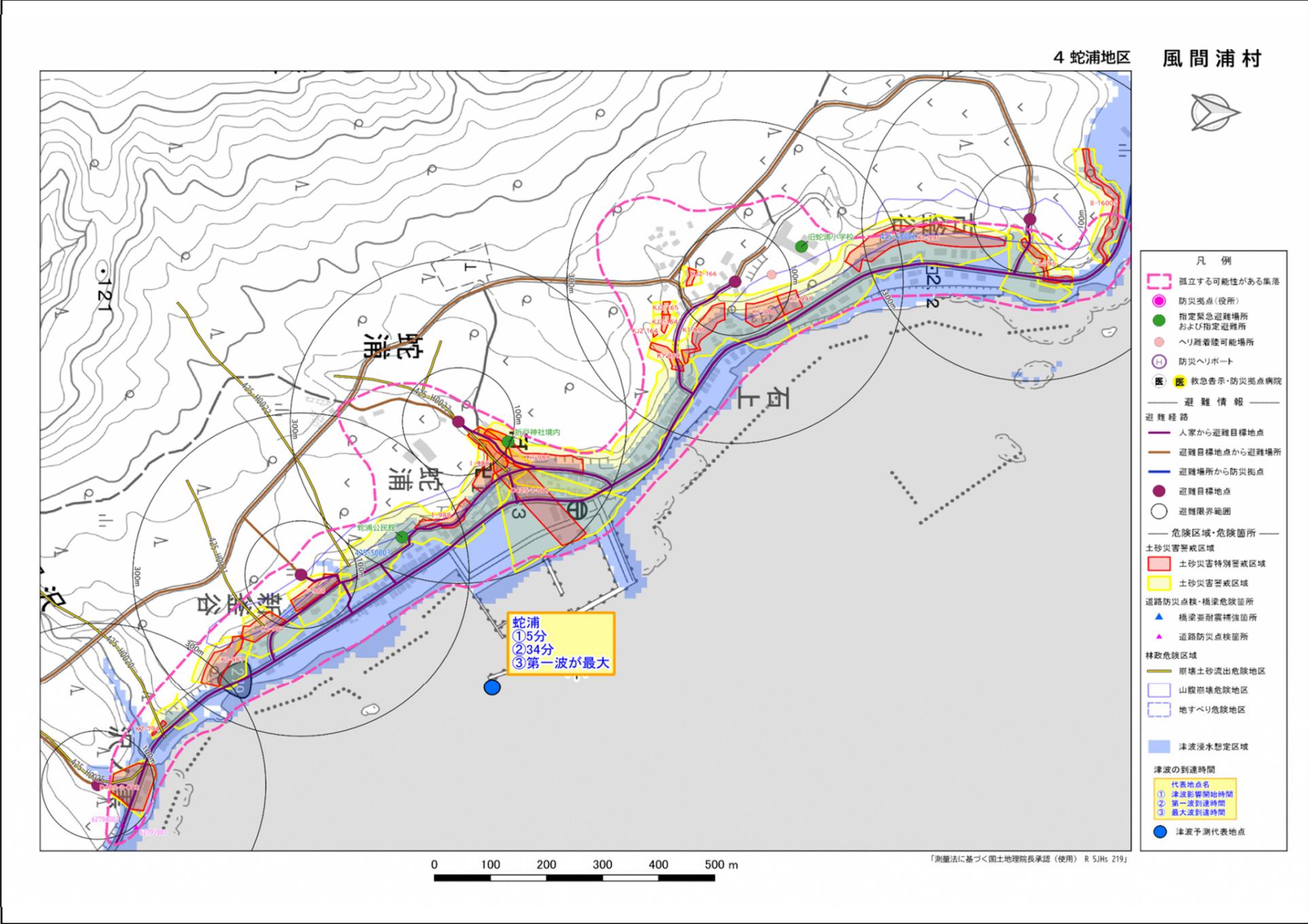
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
③下風呂地区 (孤立集落・津波浸水)	検討前	・避難目標地点は5箇所。 (1箇所は浸水区域内のため、浸水区域拡大による再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が22分から最短の2分に変わるため再検討が必要)	・避難場所は1箇所指定されており、安全。 (浸水区域拡大による避難場所の検討が必要)	・新たな浸水区域内の避難経路の再検討が必要である。	・地区内のヘリポート1箇所利用可能。 ・地区にある漁港の利用。	・役場までのアクセスルート上に、危険箇所が点在している。	孤立する
	検討後	・避難目標地点は10箇所。 ・浸水区域内にある目標地点2箇所を移動し、5箇所追加した。	・避難限界範囲は第一波到達時間で300mで再設定した。 ・第一波到達時間を採用すれば避難限界範囲は変わらない。	・避難場所は旧下風呂小学校跡地（一次避難場所）、旧下風呂小学校の2箇所に設定した。 ・その他の目標地点からは車両等による移動も必要である。	・旧下風呂小学校、旧下風呂小学校跡地への避難経路上に危険箇所（急傾斜地 I-970、崩壊土砂流出425-H0003、425-H0007）があり、未対策である。（崩壊土砂流出425-H0001は対策済みであり、425-H0004、425-H0006は事業中である）	・旧下風呂小学校のヘリポートと下風呂漁港を利用する。	・地区内の危険箇所、役場方面までの危険箇所の対策が完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する

4.物資の輸送手段の確保

・旧下風呂小学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。
 ・下風呂漁港は利用可能である。

防災公共推進計画 下北県土整備事務所管内【風間浦村】④蛇浦地区（孤立集落・津波浸水想定区域）検討結果

1.地区の検討図面



【地区の検討結果】 ※風間浦村の検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
④蛇浦地区 (孤立集落・津波浸水)	検討前	・避難目標地点は5箇所。 (危険箇所内に設定されているが現状では対策不要である)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が22分から5分に変わるため再検討が必要)	・避難場所は1箇所指定されており、安全。 (その他の避難場所の検討が必要である)	・新たな浸水区域内の避難経路の再検討が必要である。	・地区内のヘリポート1箇所利用可能。 ・地区にある漁港の利用。	・役場までのアクセスルート上に、危険箇所が点在している。	孤立する
	検討後	・避難目標地点は5箇所。 ・浸水区域外にあるため安全である。	・避難限界範囲は津波影響開始時間で100m、第一波到達時間で300mの2種類で再設定した。 ・第一波到達時間を採用すれば避難限界範囲は変わらない。	・避難場所は旧蛇浦小学校の1箇所に設定した。	・旧蛇浦小学校への避難経路上に危険箇所(急傾斜地 I-989、崩壊土砂流出425-H0021、425-H0022)があり、未対策である。(土石流425-I-1は対策済みである)	・旧蛇浦小学校のヘリポートと蛇浦漁港を利用する。	・地区内の危険箇所、役場方面までの危険箇所の対策が完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する

2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所(地区内)		
避難所・避難場所名	避難所種別	
旧蛇浦小学校	指定避難所	
2-2.利用可能な避難場所(地区外)		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
蛇浦公民館	津波浸水想定区域内	指定避難所
折戸神社境内	危険箇所内	指定緊急避難場所

3.避難経路の確保

・旧蛇浦小学校への避難経路上に危険箇所があり、未対策である。
 ・地区内の危険箇所、役場方面までの危険箇所の対策が完了後、孤立する恐れは解消する。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
急傾斜地	I-989	県	石上	【未実施】
土石流	425-I-1	県	蛇浦川	【事業完了】
崩壊土砂流出	425-H0021	県	新釜谷No1地区	【未実施】
崩壊土砂流出	425-H0022	県	新釜谷No2地区	【未実施】
急傾斜地	I-986	県	孫三郎澗	【未実施】
道路危険箇所	6279G501	県	国道279号(易間)	【事業中】

4.物資の輸送手段の確保

・旧蛇浦小学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。
 ・蛇浦漁港は利用可能である。